

JIMGAnews

第20号

JIMGA 本部 平成 26 年 賀詞交歓会を開催

1月15日、東京會館でJIMGA本部賀詞交歓会を開催しました。経済産業省、厚生労働省、高圧ガス保安協会、日本医療ガス学会など各種関連団体から来賓を迎え、マスコミ関係者を含めた多くの方が参加し、盛大に行われました。

はじめに豊田昌洋会長が挨拶に立ち、日本の景気回復に期待を寄せながらも、「私どもの業界は5年間で、電気料金値上げに伴いコストは252億円上がっている。これは大きな問題であり、引き続き今年も電力会社をお願いを申し上げていきたい」と述べました。また、消費税増税への対応については「公正取引委員会に消費税転嫁のカルテルを申請し、了承を得た。4月からの転嫁がスムーズに行くかどうかは業界の行く末を占う大事な問題。地域本部の皆様方それぞれの立場で頑張ってもらいたい」と呼びかけました。



挨拶される豊田会長

続いて、経済産業省 製造産業局 宮川正局長が挨拶され、「今年は企業収益を拡大し、賃金を上げ、消費や各企業の設備投資の拡大を図り、経済の好循環の実現をしたい」と述べ、消費税転嫁問題については「消費税転嫁対策室や調査官を準備して、事後のチェックも国としてしっかりやっていきたい」という考えを示しました。



会場の様子

次に、厚生労働省医政局指導課の齋藤清医療関連サービス長が原徳壽局長の挨拶を代読され、「高齢化や医療技術の進歩など環境が大きく変化するなか、地域で必要な医療を確保するためには、医療供給体制の再構築や在宅医療の更なる充実が求められている。厚生労働省としては本年度の通常国会で医療法改正法案を提出する予定である」と述べました。

更に、高圧ガス保安協会 作田穎治会長が挨拶され、「1年半ほど前に起きた大手化学会社3社の大爆発事故からしばらく大きな事故がなかったが、今回また四日市で大事故が起きてしまった。皆様の現場で保安対策をもう一度見直し、事故が発生しないように努力頂きたい」と訴えました。

このあと、間邦司副会長が「いろいろな難しい問題がまだまだたくさんあるが、全国をまわっていて景気が良くなるという状況を肌で感じている」と述べ、同氏の乾杯の音頭で新年を祝う宴に移りました。宴たけなわとなったところで、鈴木慶彦副会長が中締め挨拶をし、盛況裡に閉会しました。

なお、会長、副会長、来賓、中締めの挨拶は3月発行の産業ガスレポート春号で詳しくご紹介する予定です。

(広報委員会事務局・和田 彰)

会員紹介 一函館酸素株式会社一

函館酸素株式会社は、函館どつく(株)の前身である函館船渠(株)により昭和13年3月に高熱工業株式会社として設立され、毎時30m³の酸素製造装置を有して造船向けに操業を開始しました。戦後昭和21年に社名を函館酸素株式会社に変更し、道南で唯一酸素製造を行う企業として地域に密着し、高圧ガスの製造販売を主軸に歩んできました。

現在は太陽日酸グループの一員として「進取の気概を持って高圧ガス事業に注力し、地域の発展に貢献する」を企業理念に、各種高圧ガス・医療用ガスの製造販売、オンサイト窒素ガス供給事業、FRP容器を含む容器再検査事業、溶接機資材・保安用品・機械工具の販売、高圧ガス設備・病院医療設備の配管工事とメンテナンス、在宅酸素・在宅人工呼吸療法及び医療機器の販売など、北海道南部地域を中心に活動を行っています。また、業容拡大のため設備・工事部門においては全国の案件に広く携わっています。

品質・保安・環境への取組み

函館の本社工場では空気分離装置の運転と高圧ガス容器への充てん業務を行っており、品質管理と保安活動や法令遵守の徹底をより確実なものとするため平成16年に品質ISOの認定を取得しました。昨年は室蘭営業所と札幌営業所も認定に加え、全社で活動しています。保安に関わる部署では5S+1K(気づき)活動を推進し、改善提案型の報告会を定期的に行っているほか、毎月の構内安全パトロールを管理職の輪番制で行い、多様な視点での予防安全に取り組むなど、創意工夫ある活動を行っています。また、環境負荷低減活動へも積極的に参加し、平成21年に環境ISOの認証を受けました。目的目標で未達となった内容については外乱要因を加味した評価分析を行い、環境負荷低減意識を常に高揚するための盛り上げを図っています。



本社工場

JIMGAとの関わり

JIMGA北海道地域本部の副本部長として道内会員相互の活発な意見交換が図れるように力を入れています。地域本部が開催する保安やMGRなどの各種セミナーには積極的に社員を参加させ、知識の習得に活用しています。今後北海道においても本格的に採用されるRFタグは、JIMGAの指導のもと情報収集を行い、新たな容器管理システムとともに導入に向けた検討を進めており、高圧ガス事業者の使命である容器の安全管理に一層努めたいと考えています。

今後の展望

東日本大震災後、函館市も大きくハザードマップを変更しました。より高い津波の想定から社内でもBCPを見直し、事業継続として何が有効か、特に医療用ガスを取扱うことからどのように供給責任を果たしていくのか、本格的な検討と課題整理、対策案の作成を行っています。

今後もお客様への高圧ガス供給を万全なものとし、長年の信頼と期待に応えて地域の発展に寄与する所存です。

(函館酸素株式会社 代表取締役社長・乾 隆)

グリーン物流WGの活動について

企画部会傘下のグリーン物流WGは、高圧ガスメーカー各社の物流責任者がメンバーで、主に高圧ガス輸送におけるCO₂排出削減の取組みを目的に活動しています。この方法としては、計画配送などのソフト面と、ローリへのデジタル式タコグラフや重量計の搭載などハード面の取組みがありますが、詳しくはウェブサイトで紹介していますので、ご参照ください。

<http://www2.jimga.or.jp/dl/sangyo/mem/ondanka/co2.pdf>

これらの活動を確認するために、ローリによる製品輸送に関わるCO₂排出量統計を実施してその結果を考察し、更なるCO₂削減策を模索していますが、2006年度を100として2012年は燃料原単位で99となり、効果が表れる結果となりました。

一方で、コンプライアンスに関連し、荷主として遵守すべき関連法規の再確認や、知見を深める取組みを行っています。その活動の一環として、1月16日に姫路安全スクールを訪問しましたので、ご紹介します。



グリーン物流WGのメンバー

姫路安全スクールについて

昨年4月20日に開校した姫路安全スクール（姫路市飾磨区妻鹿1536-2）は、高圧ガス搬送・納品に関わる運行・充填作業・ガス供給作業の安全スキル向上に特化したスクールで、酸素、窒素、アルゴン等の液化高圧ガスの輸送、充填作業の訓練、CEタンク、シリンダー容器、



（左上から時計回りで）
フレキシホースカットモデル、LOXカットモデル、
ローリのオーバーハング、CEカットモデル

LGC等の各種容器の構造や取扱い上の注意事項の学習ができます。高圧ガス作業の危険回避に必要な安全運転の知識やガス供給技能の実践的な習得、大型車両、トレーラーの連結・切り離しなど高圧ガス車両特有の運転操作及び交通訓練を体験実践でき、高圧ガス輸送ドライバー向けのスキルアップに対応しています。また、このスクールでは、CEやLOX、バルブなどのカットモデルが展示してあり、普段目にするののできないCE内部の構造やLOXの液面計の仕組み、バルブ不良の主要因となる破損ネジ部の断面などが見られ、ドライバーでなくとも大変参考になります。当日は、ローリの充てんフレキホースのカットモデルを用いて、いかに水分の除去が困難であるかの実演を見学したり、大型トラックのオーバーハング（回転時、後ろ車輪後部が外側へはみ出る現象）や死角を体感したりすることができました。このように、ドライバーや物流担当者のみならず、技術職や営業職の方々も一見の価値があります。詳しい内容やお問い合わせはウェブサイトに掲載されていますので、ぜひご参照ください。 <http://www.h-ss.co.jp/index.html>（企画部会事務局・和田 彰）

（左から時計回りで）
フレキシホースカットモデル、LOXカットモデル、
ローリのオーバーハング、CEカットモデル

新事務局員紹介



名前：倉本 明彦（くらもと あきひこ）

現住所：名古屋市瑞穂区

略歴：1978年4月 旧大阪酸素工業(株) 入社

2010年1月 日本エア・リキード(株) 西日本地域本部

2012年10月 日本エア・リキード(株) 中部地域本部

2014年1月 JIMGA 東海地域本部 事務局長

趣味：これと言って趣味と言えるものはありません。単身赴任生活も14年になり、一人で名古屋で過ごす休日は、テレビのスポーツ中継を観るのが楽しみです。

抱負：今までまったく経験したことのない業務になりますが、少しでも早く事務局の業務を覚え、微力ながら会員の皆様のお役に立てるように頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

RFタグの国際ウエルディングショーへの出展について

国際ウエルディングショーにJIMGAが推進するRFタグによる高圧ガス容器管理システムを出展します。当日は、各社のRFタグを装着した容器とハンディーターミナルの実機によりRFタグの利便性を体感して頂きたいと思っておりますので、ぜひお越しください。

国際ウエルディングショーのウェブサイトからの事前登録により、入場料1,000円が無料になりますが、事務局にも招待券を用意しておりますので、和田宛にお問い合わせください。

国際ウエルディングショーの開催概要は下記の通りです。

(容器RFタグ運営委員会事務局・和田 彰)



容器に装着されたRFタグとハンディーターミナル

名称：2014国際ウエルディングショー

会期：平成26年4月23日(水)～26日(土)

開催時間：10:00～17:00

※最終日4/26は16:00まで

会場：東京ビッグサイト(東京都江東区有明3-11-1)